

れいめい

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1

まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560

らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588

サニーマーケット TEL027-212-8301 / FAX027-212-8302

アベリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588

ホームソレイユ/ホームあおぞら TEL027-260-1900(らいず内)

～コロナ禍での各事業所の取り組み報告～

まほろ施設長 茂木厚志

新型コロナウイルスの感染拡大で私たちの生活は大きく変わりました。現在は日本の感染者数の報告は少なく比較的落ち着いた、街に人の姿が多く見られるようになってきました。しかし本格的な冬になると第6波の感染拡大が予測されています。また海外、特にヨーロッパでは、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいてもブレイクスルー感染者が急増している国もあります。安心して暮らせる社会は未だ先の様です。引き続き、三密を避ける、マスク着用、手洗い・手指消毒を継続し感染防止にご協力ください。

政府から「新しい生活様式」が提案され、新型コロナ感染防止のための新しい取り組みが始まりました。当法人でも感染防止を最重点とし、各事業所で新たな取り組みを開始し、ここで紹介いたします。これからも感染防止の継続のご協力をよろしくお願いいたします。

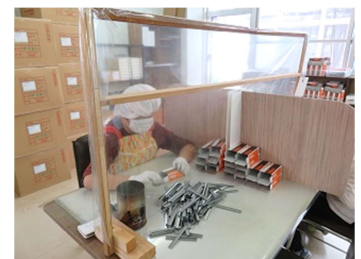
～新型コロナ感染予防 まほろの取り組み～

まほろ支援員 吉田真紗美

まほろ下請け事業部の作業内容やコロナ禍での感染対策等について報告したいと思います。

下請け事業部では、マックスの針詰め作業をはじめボールペン、風船、薪、シール貼りの作業に取り組んでいます。どの作業にも、真剣に取り組んでおり、責任を持って行うことが出来ています。コロナ禍での作業では、テーブルに飛沫防止のための衝立を設置し、感染対策を実施してきました。その際、以前とは異なる環境になりましたが、皆が協力してテーブルを使用してくれています。感染対策では、作業開始前に手洗いの練習も実施してきました。手を水で流し、石鹸を付ける、30秒間手をこする、30秒間水で泡を流すの一連の流れを皆で一緒に確認し手洗いが上手にできるようになりました。作業環境においては、作業室や薪小屋等に分かれ、三密(密閉・密集・密接)を避けながら作業を進めています。

まほろ全体として、休憩中などには、休憩場所の椅子の配置や各部屋を開放し、密集を回避し、毎日の作業終了後に消毒を徹底し感染対策を行っています。皆が楽しみにしている行事ですが、外出することもできず、体を動かす活動も少なくなってしまうています。体を動かすために、ラジオ体操の実施や簡易的なダンスを行いながら体力維持を図っています。ダンスでは、明るい音楽で楽しい雰囲気づくりをしながらこれからも、実施していきたいと思っています。現在の状況では、コロナウイルスの感染が収まる時期が分からず、マスクを取って過ごせる日が待ち遠しいですが、コロナウイルスに感染しないよう、引き続き感染対策を行っていききたいと思います。また、行事が再開できるようになった際には、皆で楽しめる行事を考えていますので、もう少し一緒に感染予防を頑張っていきましょう。



～コロナ禍においてのらいずの活動内容～

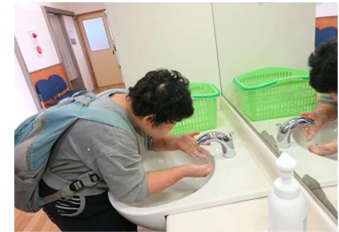
らいず支援員 高山真穂

コロナ禍の影響で、らいずの活動内容も今までどおりとはいかず、新たな工夫を加えて利用者みなさんに提供するようになりました。今回は感染予防の観点から新たに取り入れた活動内容の一部をご紹介します。

らいずは、生活介護事業所ということで、障害支援区分が4以上の重度障害を有する方がご利用されています。これまでも、体力向上やリフレッシュを目的とした散歩、ADL向上やリハビリを行っていましたが、コロナ禍においては、特にADL

(日常生活に必要な行動)の向上に注目して、これまでの生活場面で多くの支援・援助が必要であった部分を少しでも自身でできるようにならないかにスポットをあて活動として取り組むこととしました。例えば、マスクの着用が難しい方を中心に作業時間の中で練習を取り入れました。マスクが着用できない理由も利用者の方々に様々で、感触が苦手だったり、息苦しさを覚えることが想定されました。マスクの感触が苦手な方には布を当てる事から始め、慣れてきたらマスクを口に当てる、ゴムを耳につけてマスクをつけることで段階を踏んでマスクを着ける感覚に慣れてもらいます。息苦しさを覚ってしまう方は必要な場面では着用していただき、3密を回避している場面では外してもよいということで対応を行いました。練習を続けた結果、徐々にですが必要な場面ではマスクを着用することができるようになってきました。また、手洗い支援も今まで以上に配慮が必要となりました。職員と一緒にマンツーマンで練習を行っています。まず、職員が実際に手を洗いながら、洗う過程を伝えていきます。こちらでもスモールステップで少しずつですが、自発的に取り組めるように支援しています。

現在の活動はコロナの影響で限られたものとなっていますが、一日も早く以前の生活が戻ることを願って今できる活動の中で楽しさや喜びを感じていただけるように頑張っていきたいと思います。



～ホームあおぞらの支援～

ホームあおぞら支援員 小沼紀子

ホームあおぞらの利用者みなさんは、現在のコロナ禍でも毎日元気に生活しています。なかなかイベントを行う事が出来ない中、今年のクリスマス会のことを報告したいと思います。クリスマス会では毎年夕食時に普段とは違うメニューで、ピザやケーキ、ジュースやお菓子などを食べてからカラオケ大会をして最後にプレゼントを贈りました。密にならないように考え、カラオケは行わず、その代わりにいつもより食事を少し豪華にしました。メニューはハンバー

グやから揚げが入ったプレートとワッフルをショートケーキ風にデコレーションしたケーキを作りました。思ったよりボリュームが多くなり完食してもらえるかと少々心配になりましたが皆さんとても喜んで食べて頂きました。そしてプレゼントですが、ホームで使えるものと考え、名前を入れたお箸をプレゼントしました。渡すと最初は同じ形のお箸に不思議そうな顔をしていましたが、手元に彫ってある自分の名前を見つけ、喜んで見えました。その瞬間まで今は喜んでもらえるかドキドキしてましたが、皆さんの笑顔を見て心の中で小さくガッツポーズをして、次回のことを考えています。

コロナ感染予防でイベント等が制限されていますが、皆さんが楽しく日々生活できるように考えていきたいと思います。またホームの体制が8月から変わり、たくさんの職員が日替わりで支援にかかわることになりました。新しい体制で、今までよりもより良いホームに、利用者みなさんがより笑顔になれるようにしていきたいです。



～放課後等デイサービス事業所サニーズマーケット活動報告～

児童指導員 牛込敦彦

就労継続B型支援事業所サニーズマーケットでは、令和3年1月1日に多機能型の障がい児通所支援事業所として同敷地内に放課後等デイサービス事業所サニーズマーケットが開所しました。三山黎明会としては初めての障がい児通所支援事業ということもあり開所当初は全ての事に対して手探り状態でした。その中で1人また1人と少しずつ利用者様が増えていき、現在、利用者様は発達障がい児の方を中心に小学校1年生から高校生までの契約者9名の方達にご利用いただいています。(定員10名)



放課後等デイサービス事業とは、平成24年児童福祉法に位置づけられた支援であり、学校に就学している障がい児に、授業の終了後又は休業日に学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて個々の子供の状況に応じた発達支援を行い、健在な育成を図る事業となっています。放課後等デイサービスサニーズの療育活動として



○個別活動(軽運動、学習、文化活動等の本人の療育に沿った活動)
○集団活動(軽運動、屋外活動、創作活動、余暇活動等楽しみながら集団適応力を育む活動)があります。夏休みの具体的な活動事例(写真参考)として、サニーズの畑で育てたスイカを使ったスイカ割り(農作業、余暇活動)や各種工場見学(社会学習)、資料館や動物園、科学館めぐり(体験学習)等を行い、楽しみながら参加出来る療育活動を提供しました。これらの日々の療育活動を通して生活能力の向上(コミュニケーション能力、集団生活適応力、ルールやマナーに対する社会性、運動機能等)を目指し、成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育めるように取り組んでいます。その積み重ねによって将来の豊かな自立生活を実現させるための基盤作りが出来るよう、日々の支援にあたっています。また、小学校から高校までの心身の変化が大きく多感な時期ということもあり、子供達の発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮した支援を必要としているため、一人ひとりの状態に即した発達支援を心がけています。

活動を通して「明日もサニーズへ行きたい。」と利用者様に思ってもらえるよう、現在の支援に満足する事なく研鑽し、さらなる高みを目指してサービスを提供してまいりますので、今後も放課後等デイサービス事業所サニーズマーケットをよろしく願い致します。

～相談支援事業所アベリアより～

相談支援員 舘野真生

新型コロナウイルス感染予防のため、本年もお電話を中心に相談業務を進めさせていただきました。ご協力とご理解をいただきありがとうございました。社会環境も一変しご自宅の様子を伺うと、休日や余暇の過ごし方としてゆっくり自宅で過ごし、外出も控えているというご意見も多く伺いました。今までの生活がいち早く戻ることを切に望んでおります。

日中活動ではマスク生活や活動の変更があるなか一生懸命日中活動に参加をしている方も多くみられています。このような時期だからこそ休日や余暇の時間を使って一生懸命取り組める余暇の時間、興味が持てる活動を見つけていければより生活のリズムも整い、充実した生活が送れるのかなと感じています。日中活動、余暇活動、休息の時間を一生懸命取り組むと生活にメリハリをつけることができるのでこの時期には大切だと感じています。そういったお手伝いができるように、アベリアは皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。お気軽にお声がけください。

ホームソレイユは女性専用のグループホームで、現在3名の方が入居されています。今回、その中の一名の方についてご紹介いたします。先日63歳になられましたが、日中活動で作業を元気に参加され、夜間はこのホームソレイユで生活をしています。その誕生日を祝い、ホームの皆で誕生日会を開催しました。ちょっと豪華な夕食とケーキを食べ、プレゼントを贈り、ホームの皆でささやかなお祝いをしました。とても楽しい誕生会になりました。その方の趣味はお料理作りで、ホームの夕食のお手伝いもほとんど毎日、進んで参加して下さりとても助かっています。土日は家庭に帰りますが、一人暮らしなので買い物から料理、家事なんでも自分でこなし、自主的に行動でき、面倒見もよいので、入居している方々からの信頼も厚く、とても頼りにされているリーダー的存在です。彼女が居るだけでホームの皆も安心して過ごすことができるようです。これからも健康に注意してホームとまほろの生活を続けていくと欲しいと願っています。

昨年からのコロナ禍の生活で、マスクの使用や外出制限など感染防止対策を継続して実施していますが、この先も予測できない状況です。そんな中でもかけがえのない毎日を利用者の皆さんと感染予防を徹底して明るく元気に一緒にホームの生活をがんばっています。



公益財団法人JKAより助成事業を受けました。

今回、公益財団法人JKAに申請していた「2021年度 緊急的な対応を必要とする事業（新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援）補助事業」の補助金交付が、2021年10月25日付で決定しました。

この補助事業は、2021年度競輪の補助を受けて、新型コロナウイルス感染予防対策を目的に、サーマルカメラ・空気清浄機等を購入・設置する事業です。

当法人では、サーマルカメラ 3台・ミスト噴霧機 1台を購入し、らいず・まほろ・サニーズマーケットに設置しました。

今後、利用者をはじめ施設を訪れる方の体温測定や、今まで拭き取り作業が困難だった送迎用車輛・放課後等デイサービスの遊具等への除菌・消毒作業に使用させていただきます。

公益財団法人JKA様には、謹んで御礼申し上げます。



◇社会福祉法人三山黎明会ホームページのご案内（法人情報を公開しています）

法人の詳しい事業内容等がご覧になれます →→→ <http://www.mireimei.or.jp/>